

ウインドラボ・ネット

セキュリティおよび、プラットフォーム
についてのご案内

ウインドラボ . ネットのセキュリティーについて

- ウインドラボ . ネットではインターネットで多くの実績があり、セキュリティー上、厳格な管理の出来るLotus Domino R5を採用しております。

クライアントとしてはサービス提供者様には、全世界で8000万人が使用し、日本でも1000万人が使用しているNotesクライアントを提供し、セキュリティー的にも使い勝手の面からも非常に良い物となっております。
(2001年末現在のLotus社公表値)

ユーザーには、一般的なWebブラウザ (IEやNetscape NavigatorなどのSSLが使用でき、Java Appletが稼動するもの)があれば問題ありません。ユーザーの情報はSSLによって守られています。



クライアントソフトウェアとユーザープラットフォームについて

- サービス提供者様用クライアントソフトウェア

Lotus Notes R5の導入もしくは、下記ユーザークライアントと同じ環境が必要です。

導入に関しては、ウインドラボ・ネットが導入マニュアルを提供します。1～2回の電子メールか、電話によるサポートを行うことがありますが、特定の環境において必ずしも動作をお約束するものではありません。オペレーティングシステムとしてはWindows2000日本語版、最新のサービスパックおよびセキュリティーパッチを当てたものを推薦します。

(詳しくは、マイクロソフトのWindowsセキュリティーをご参照ください)

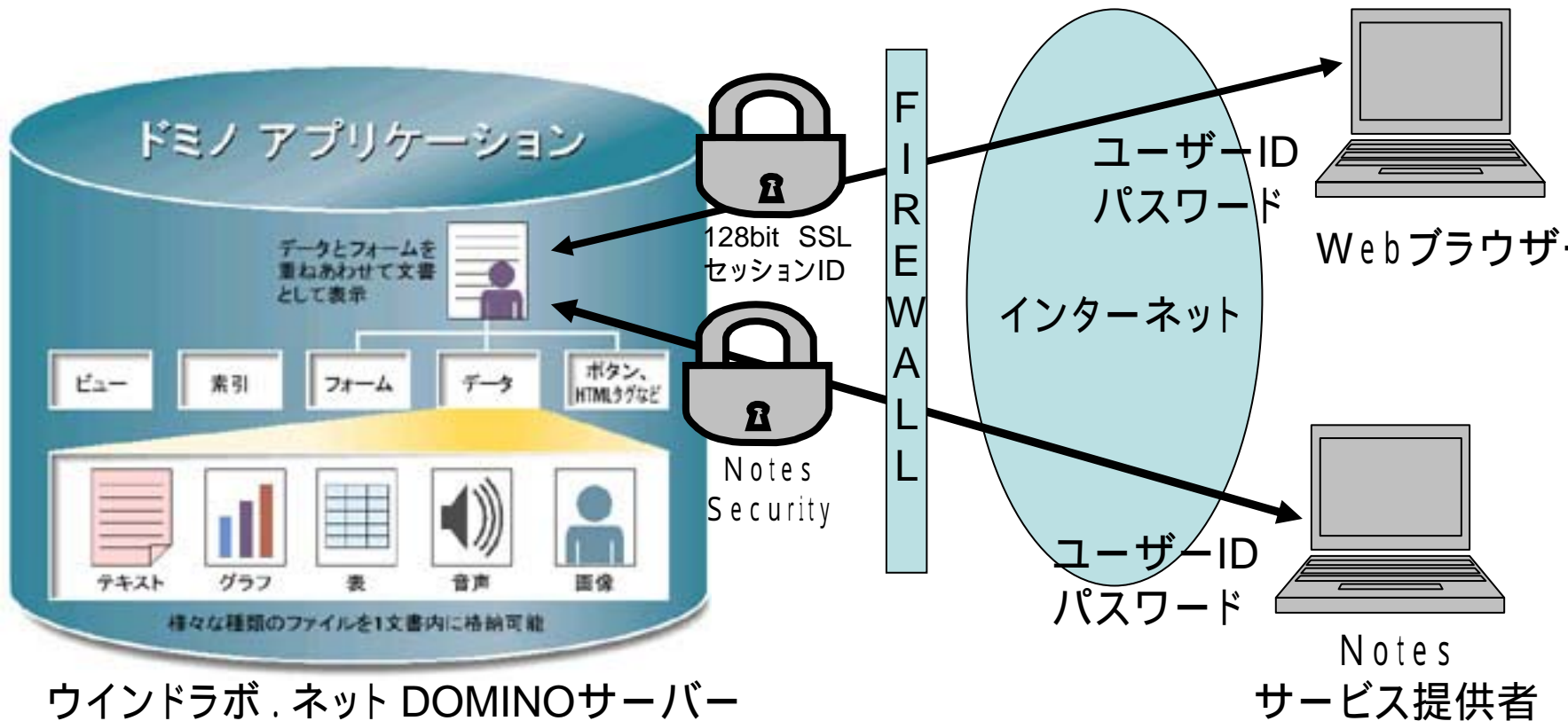
- ユーザークライアント

128bit SSLによるデータ通信機能を持ち、Java Appletが稼動可能なIE、Netscape Navigatorなどのソフトウェアが入っている事がが必要です。IEは5.5SP2 + セキュリティーパッチ以降を推薦します。

(詳しくは、マイクロソフトのIEのセキュリティー情報をご参照ください)

データ格納とセキュリティについて

ウインドラボ・ネットが採用しているDOMINOサーバーは、ユーザー認証を通常のユーザー名とパスワードで認証を行うベーシック認証とセッション認証をサポートしています。セッション認証とSSLを組み合わせて利用する方法は、セキュリティが最重要視されるECサイトでも使用されています。ウインドラボ・ネットでは、128bitのSSLを採用しております。



ウインドラボ・ネット DOMINOサーバー

Notes サービス提供者

ウインドラボ・ネット サーバーの稼働環境

- サーバー設置場所について

サーバーの設置している部屋は、入退室を厳格にチェックするようになっております。許可無く関係者以外が出入りすることはありません。

- UPS (無停電電源) 等の設備について

サーバー当り1400VAのUPSを設置しております。また、全てのサーバーはRAID5 + 1によりDISK障害対策をしています。メモリーはECCメモリーを使用し、CPUも2つ搭載することによって、最悪の場合でもリブートにより障害回復するよう設計しております。

使用している用語について

- **SSL**
Secure Sockets Layerの略で、ブラウザとサーバの間のデータを暗号化するためのプロトコルのことです。ネットスケープやインターネットエクスプローラに実装されており、業界標準となっています。V2/V3/TLSなどの種類があり、現在V3が主流です。
- **UPS**
コンピューターにとっては、商用電源の瞬時電圧低下や電圧変動などの不安定な電源環境が誤動作や停止の原因となります。UPSは、蓄電池に常時エネルギーを蓄えておき、商用電源がとぎれても電力を送り続けます。
- **RAID5 + 1**
RAID5 + 1とは、サーバーで最も頻繁に起こるDISK障害に対する障害対策で、最も一般的なRAID5に対して、さらに障害対策を強化したものです。RAID5では予備DISKは1つだけですが、RAID5 + 1では予備DISKを2つ持っています。
- **ECC**
Error Correction Memoryの略で、メモリー上でデータの損傷が起こっても、自動的に修復するタイプのメモリー。サーバーでは一般的に使用されています。
- **EC**
Electronic Commerce 電子商取引の略。所謂インターネットでの商店などを指す。
- 当文書で参照している他社の商標は、それぞれ該当する会社に帰属します。